

Ⅳ. 教育研修単位を取得される皆様へ

- (1) 単位取得は有料です(1単位 1,000円 [消費税 10%を含む]).
- (2) 本学術集会において教育研修単位を取得できる講演は、文化講演、特別講演、招待講演、教育研修講演、ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナー、モーニングセミナーです。また、一部のシンポジウム、パネルディスカッションも単位取得が可能です。

現地参加での取得可能単位数の上限は、合計 14 単位です。同時時間帯に開催する講演は、いずれか 1 単位のみ取得可能です。現地開催後、オンデマンド配信期間中の取得可能単位数の上限は、合計 8 単位です。上限単位には、研修指導者講習会、骨・軟部腫瘍特別研修会の単位は含まれません。現地、オンデマンドの両方で視聴した場合でも、最大取得可能単位数は 14 単位です。また、オンデマンドの最大取得可能単位数は 8 単位です。

- (3) 取得可能単位数について

	骨・軟部腫瘍 学術集会 参加単位	骨・軟部腫瘍学術集会での受講により 取得できる最大単位数		
		現地受講	オンデマンド配信 での受講	ハイブリッド受講 (現地+オンデマンド)
専門医認定資格を得るための 研修期間の会員	—	14 単位	8 単位	14 単位 (オンデマンド配信で の最大 8 単位を含む)
日本専門医機構認定 整形外科専門医	3 単位			

- (4) 教育研修単位取得講演の受講手続きについて

(現地受講の場合)

- ・ 単位受付 (フェニックス・プラザ 1F ホワイエ) にてお申込みください。ただし、規定の人数に達した場合、入場できないことがありますのでご了承ください。
- ・ 受講にあたって会員の方は、IC 会員カードが必要となりますので、必ずご持参ください。IC 会員カードをお持ちでない方またはお忘れの方には、当日、仮 IC 会員カードを発行いたします。
- ・ 講演開始 10 分前から、講演開始 10 分後までに IC 会員カードまたは仮 IC 会員カードを講演会場入口のカード読み取り機にかざして出席登録を行ってください。10 分を過ぎて受講手続きが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。
- ・ シンポジウム、パネルディスカッションで単位を取得する場合は、入場時とセッション終了の退出時に IC 会員カードまたは仮 IC 会員カードをカード読取機にかざして登録を行ってください。シンポジウム、パネルディスカッションは現地で 1 時間受講すれば、単位が付与されます。

(オンデマンド配信受講の場合)

- ・ 学術集会ホームページより受講手続きをお済ませください。
- ・ 安定したインターネット環境でのご参加をお願いいたします。
- ・ 参加登録後にご案内する学術集会視聴サイトの該当セッションページより受講ください。セッション終了後 10 分以内に、「視聴終了」ボタンを押し、表示される設問に回答ください。設問に正解すると単位取得が認められます。

- ・ 現地受講とオンデマンド受講では、同一講習での単位の重複取得はできません。
以下の場合、受講履歴がクリアされるため、単位取得が認められませんのでご注意ください。
- 1) 視聴開始したあと、別のページに移動する。
- 2) ブラウザの「戻る」ボタンで戻る。
- 3) ブラウザを閉じる。

(5) オンデマンド配信セッション教育研修単位の取得について

【不正受講の禁止等】

学術総会等における講演その他の単位を申請する教育研修の受講は、参加者が高度な学識と技能を習得するために必要なものです。さらに、教育研修単位として申請をされている場合は、わが国における専門医制度の運営の基盤となるものです。

オンデマンドプログラムを受講する際に閲覧する動画が「早送り」をされたり、オンデマンド配信セッションの受講時に同じ時間帯に複数の端末等で再生がされた場合は、記録している「ログ」をもとに、不正受講が行われたと判断します。不正受講は、学術集会等の意義を毀損するとともに、医師としての資質に重大な疑いを生じさせ、専門医制度の円滑な運営に支障を生じさせる行為です。不正受講をした会員に対しては、単位の不認定は当然として、厳正に対処します。絶対にお止めください。

なお、一旦教育研修単位の申請をされた以上は、支払われた受講手続費用は返金しません。

【不正受講とみなされること】

1. 講演の初回視聴をスキップ(早送り)して e テスティングに合格して単位申請すること。
2. 複数の PC・タブレット等で同時に視聴を行い e テスティングに合格して単位申請すること。
3. 複数のブラウザやタブを用いて同時に視聴を行い e テスティングに合格して単位申請をすること。
4. 視聴前に e テスティングの設問画面にアクセスして解答すること。
5. 複数講演を同時に受講開始しておき、追って順番に視聴すること。
6. 視聴後、時間が経過してからまとめて解答すること。
7. 他人に視聴あるいは e テスティングを委託して単位申請すること。
8. その他、本学会、教育研修委員会が不正と判断すること。

【不正行為の予防のために】

- ・ e テスティング合格後の単位申請について
講演をすべて視聴した後に、すみやかに設問に解答して、正解(共通講習では 80%以上)の場合に限り、申請後に単位が付与されます。
- ・ e テスティング解答開始までの時間制限
講演の視聴終了後、10 分以内に設問の解答を開始した場合に単位申請を認めます。視聴終了後 10 分を超えた時間が経過して e テスティングの解答を開始した場合の単位申請は認めません。
- ・ e テスティング解答時間の時間制限
解答時間には制限を設けます(領域講習(設問 1 題, 5 択形式)は 30 分以内, 共通講習(設問 5 題, 5 択形式)は 60 分以内)。視聴後、「視聴終了」ボタンをクリックしたら、すぐに回答を始めてください。一度クリックされますと取消しができませんので、制限時間内に必

ず回答してください。超過した場合、理由の如何を問わず単位取得は認められません。

- ・ 初回の早送りや視聴時間の短縮をした聴講による単位申請を認めません。
- ・ 複数講演の同時視聴あるいはローディングした聴講による単位申請は認めません。
- ・ 不正受講と認定された場合でも返金はいたしません。
- ・ オンデマンド配信の一時停止機能の時間制限

聴講時に一時停止を認めます。ただし、一時停止の上限は累計(停止回数は問わない)で30分とし、それを超えた場合には再受講をしなければなりません。

【特例措置】

子育て中の医師については、特例措置を設けます。申請は、学会ホームページから『特例措置希望届』をダウンロードし、必要事項を記入の上、母子保健手帳の表紙と1ページ目の写しあるいは障害者手帳の写しと共に日本整形外科学会事務局あてにメールまたは郵送することで行ってください。審査後認可された医師に限り、解答時間開始および解答時間の時間制限、一時停止時間の上限を設けません。

特例措置期間は1年間としますが、再申請により延長を可能とします。なお、母子手帳の「子の氏名」部分は伏せてください。また、健常児の特例措置の適用は、未就学児のみとします。

(6) 研修受講履歴の確認について

- ・ 骨・軟部腫瘍学術集会オンデマンド配信期間終了後に取得単位が反映されます。詳細な反映時期が決定次第学術集会ホームページでお知らせします。日整会ホームページの会員専用ページで単位取得状況をお確かめください。
- ・ 取得した単位に複数の必須分野等が認定されている場合、取得単位の反映後に振替の操作が必要になります。会員マイページより「単位振替システム」を使って変更してください。

また、受講された単位が取得可能単位数を超過した場合や、同一時間帯に複数の受講記録がある場合は「過誤データ」として扱われます。「単位振替システム」で超過分などの削除を行ってください。単位反映後3カ月以内にご自身で訂正されなかった場合には一定のルールに従って、機械的に削除されますのでご注意ください。

(7) 骨・軟部腫瘍学術集会参加単位の取得

骨・軟部学術集会参加単位は、オンデマンド配信期間終了後に、参加登録情報に基づいて自動的に登録されます。整形外科専門医の学会参加単位は5年間で6単位まで認められます。

(8) 日本リハビリテーション医学会生涯教育研修単位について

いくつかの講演では日本リハビリテーション医学会生涯教育研修単位が取得可能です(23-27頁の講演一覧をご参照ください)。

単位取得は有料です(1単位1,000円[消費税10%を含む])。

単位受付(フェニックス・プラザ1Fホワイエ)にてお申込みいただき、受講料と引き換えに「専門医・認定臨床医生涯教育研修会受講証」を受け取ってください。

V. 第 67 回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍特別研修会開催について

本学術集会において、骨・軟部腫瘍取扱いについての特別研修会を以下の要領で開催いたします。この研修会の2つの講演を受講すると整形外科専門医試験の受験申請に必要な腫瘍の単位2単位が取得できます。

- 内 容 : 1. 「骨腫瘍の診断と治療」
講師 松延知哉(九州労災病院整形外科)
2. 「骨転移の診断と治療」
講師 綿貫宗則(JR 仙台病院整形外科)
- 日 時 : 2024年7月12日(金) 16:30～18:30
- 会 場 : 第3会場(フェニックス・プラザ B1F 大会議室)
- 対 象 : 未整形外科専門医(今後、整形外科専門医試験を受験予定の方)
- 定 員 : 250名
- 受講方法 : 骨・軟部腫瘍特別研修会の受講には、本学術集会の参加登録が必要です。
<現地受講の場合>
参加登録後、定刻までにご来場ください。遅刻・早退は認められません。
<オンデマンド受講の場合>
参加登録後、オンデマンド配信サイトからご視聴ください。

VI. 第 36 回 日本整形外科学会研修指導者講習会開催について(オンデマンド配信のみ)

- 内 容 : 1. 「今、医師に求められる医療安全とは」
座長 朴木寛弥(奈良県立医科大学骨軟部腫瘍制御・機能再建医学)
講師 森岡浩一(福井大学医学部附属病院 医療安全管理部長・教授)
2. 「整形外科医の災害時対応」
座長 山本謙吾(東京医科大学整形外科学分野)
講師 田尻康人(東京都立広尾病院 院長)
- 対 象 : 日整会認定研修施設等の指導的立場の整形外科専門医
- 受講方法 : 研修指導者講習会の受講には、本学術集会の参加登録が必要です。
参加登録後、オンデマンド配信サイトからご視聴ください。

VII. Best Presentation Award, Best Short Talk/Poster Award について

一般演題とポスター演題の査読結果をもとに候補演題を選出し、当日の発表内容を座長が評価のうえ、優れた演題を「Best Presentation Award」と「Best Short Talk/Poster Award」として選出し、閉会式で表彰します。

【表彰式(閉会式)】

- 日 時 : 7月12日(金) 18:30～18:50
- 会 場 : 第1会場(フェニックス・プラザ 1F エルピス大ホール)

第57回 日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会 講演一覧

文化講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 24-0406
1	輝ける福井の歴史と人物 —継体天皇・橋本左内を中心に—	角鹿尚計	S1572	1	12日 13:30-14:30	N	14-5	032

特別講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 24-0406	他学会 単位
1	骨・軟部腫瘍について考える	内田淳正	S1462	1	11日 13:40-14:40	N	5	013	リ医
2	患者個々のゲノム情報に基づく個別化がん 免疫療法の開発	清谷一馬	S1572		12日 14:40-15:40	N	1,5	035	

招待講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 24-0406	他学会 単位	
1	Development of pharmacological inhibitors of the TAZ-YAP-TEAD Hippo Pathway	Brian P. Rubin	S1467	2	11日	9:10-10:10	N	5,1	004	
2	Tumor microenvironment analysis in osteosarcoma predicts therapeutic response to chemotherapy	Anne Gomez-Mascard	S1468			10:20-11:20	N	5,1	007	
3	Surgery of the Pelvis: Lessons and reflections on pelvic tumour surgery - Experiences of a lifetime	Peter F.M. Choong	S1571	1		10:50-11:50	N	5	026	リ医
4	Results of osteosarcoma treatment in KCCH	Wonseok Song	S1573			16:00-17:00	N	5	038	リ医
5	Long term results of resections and reconstruction for bone tumors in children and adolescents	Eric Mascard	S1574	2	12日	9:40-10:40	N	5	023	リ医
6	Review of yearly experience in Mandalay Orthopaedic Hospital (Myanmar) including tumor like lesions and experience of rotationplasty in lower limb	Aung Naing	S1576			13:30-14:30	N	5	034	リ医

教育研修講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 24-0406	他学会 単位	
1	脂肪性腫瘍の病理診断	福島万奈	S1467	2	8:00-9:00	N	5,1	001		
2	骨・軟部腫瘍医が躍動するOnco- orthopaedicsという新たな領域	河野博隆	S1476	3		N,Re	5,13	002	リ医	
3	骨・軟部腫瘍に対する標準的薬物療法と がんゲノムプロファイリング検査	今村善宣	S1491	4	11日	9:10-10:10	N	5,1	003	
4	骨・軟部腫瘍手術の格致 —その原則と創意工夫—	阿江啓介	S1491			10:20-11:20	N	5	006	
5	固形腫瘍を標的とするCAR-T療法開発	宮原慶裕	S1492			13:40-14:40	N	5,1	014	
6	重粒子線治療の現状とこれからの展望	今井礼子	S1493			14:50-15:50	N	5,1	015	

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 24-0406	他学会 単位
7	骨・軟部腫瘍領域における保険診療の現状と課題	森井健司	S1573	1	12日	17:30-18:30	N	5	040
8	四肢、骨・軟部に発生する血管腫・血管奇形	小関道夫	S1574	2		8:30-9:30	N	5,1	020
9	21世紀を生きる若手整形外科医へ —骨・軟部腫瘍をみると日本が見える—	川井 章	S1575			10:50-11:50	N	5	025
10	がん治療における代謝支援を目指す栄養管理の重要性	飯島正平	S1593	3		13:30-14:30	N,Re	5,1	033

シンポジウム

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 24-0406
1	加速する骨・軟部腫瘍に対するゲノム医療：現状と課題	川井 章, 平賀博明	S1455-57	1	8:00-9:50			
2	診療科を超えて肉腫治療を考える —その実際と課題—	川井 章, 南 博信	S1458-60		11日	10:00-12:10	N	5
3	骨転移治療の多変数関数を解く	片桐浩久, 松本嘉寛	S1477-80	3	9:10-11:20			
4	肉腫治療の次の一手	森岡秀夫, 生越 章	S1485-87		15:30-17:00			
5	進化するJCOG骨軟部腫瘍グループ —20年を総括し、これからの20年を展望する—	尾崎敏文, 高橋俊二	S1567-70	1	8:30-10:40	N	5	022
6	小児・AYA世代の肉腫治療の現状と課題	松本誠一, 平岡弘二	S1581-83	2	16:50-18:30	N	5,3	039
7	腫瘍用人工関節 感染予防と感染のおさめかた	森井健司, 林 克洋	S1585-88	3	8:30-10:10	N	5,6	021
8	がんロコモ:患者のQOLを向上させる為に ほんとうに大切なこと	高木辰哉, 杉浦英志	S1589-92		12日	10:20-11:50	N,Re	5,13

パネルディスカッション

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 24-0406	
1	骨・軟部腫瘍の基礎研究の新展開	西田佳弘, 川島寛之	S1463-66	1	11日	14:50-16:50			
2	上腕骨悪性骨・軟部腫瘍に対する再建の工夫	西田 淳, 朴木寛弥	S1482-84	3		13:40-15:20			
3	多職種から見た骨・軟部腫瘍治療の現状と課題	河野博隆, 遠藤 誠	S1577-80	2	12日	14:40-16:40	N	5,1	036

症例検討会

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時
1	症例検討会	福島万奈, 小西英一, 中西克之, 田中太晶	S1474-75	2	11日 17:10-19:00

Bone Tumor Club

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時
1	Bone Tumor Club	山下享子, 出淵雄哉, 神田浩明, 渡邊裕美子	S1470-72	2	11日 13:40-15:50

ランチョンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	認定番号 24-0406
1	成人型低ホスファターゼ症における歯科 症状と医科歯科連携	中村博幸	S1461	1	11日 12:30-13:30	N	4,1	008
	「痛み」で気づく —成人型低ホスファターゼ症—	福士純一						
2	骨・軟部腫瘍疾患における診断エラー —骨粗鬆症性骨折との鑑別など—	白井寿治	S1469	2		N	5,4	011
3	下肢再建用人工材料を用いた関節機能 再建術の実際 —Tips & Pitfall—	小林英介	S1481	3		N,Re	5,12	009
4	骨・軟部腫瘍に対する腫瘍用人工関節の 使用経験 —いかにして長期的に安定した 成績を得るか—	中山ロバート	S1492	4		N,Re	5,12	012
5	悪性軟部腫瘍治療におけるトラベクテジンの 位置づけと投与マネジメント	竹中 聡	S1504	5		N	5	010
6	がん診療と整形外科 —Onco-orthopaedicsという新領域—	森岡秀夫	S1571	1		N,Re	5,13	028
7	骨・軟部腫瘍医による神経線維腫症1型 診療の勘所	西田佳弘	S1575	2		N	5,8	029
8	骨・軟部腫瘍領域における手術部位感染 対策	山田浩司	S1593	3		N	5,6	031
9	下肢腫瘍用人工関節の格致	中村知樹	S1604	4		N,Re	5,12	030
10	FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症の 診断と治療 —最近のトピックスと今後の課 題—	小林 寛	S1625	5	N	5,4	027	

アフタヌーンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	認定番号 24-0406
1	生物学的再建の光と闇	林 克洋	S1473	2	11日 16:00-17:00	N	5	016
2	ゲノム時代の到来: 僕たちはどのような医療 を目指すべきか?	中田英二	S1493	4		N	5,1	017
3	進行期悪性軟部腫瘍の治療戦略	中山ロバート	S1594	3	12日 15:00-16:00	N	5	037

モーニングセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	認定番号 24-0406
1	骨・軟部腫瘍に対するアブレーション治療	山門亨一郎	S1584	3	12日 7:25-8:25	N	5,1	019
2	良性骨腫瘍における最近の話題	小林英介	S1594	4		N	5	018

第36回 日本整形外科学会研修指導者講習会

No.	タイトル	講師	開催方式	単位 種別	必須 分野
1	今、医師に求められる医療安全とは	森岡浩一	オンデマンド配信 8月19日(月)～9月23日(月・祝)	N	14-1
2	整形外科医の災害時対応	田尻康人			

※2名演者で1プログラムの講演(120分)を受講し、確認問題の正答率が80%以上で単位取得することができます。

日整会認定教育研修 受講取得単位 (認定単位種別)

N:日整会専門医単位 S:スポーツ単位 R:リウマチ医単位
SS:脊椎脊髄病医単位 Re:運動器リハビリテーション医単位

日整会認定教育研修 受講必須分野 (専門医必須14分野)

- 1 整形外科基礎科学
 - 2 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
 - 3 小児整形外科疾患(先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
 - 4 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
 - 5 骨・軟部腫瘍
 - 6 リウマチ性疾患, 感染症
 - 7 脊椎・脊髄疾患
 - 8 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)
 - 9 肩甲帯・肩・肘関節疾患
 - 10 手関節・手疾患(外傷を含む)
 - 11 骨盤・股関節疾患
 - 12 膝・足関節・足疾患
 - 13 リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む)
 - 14-1 医療安全
 - 14-2 感染対策
 - 14-3 医療倫理
 - 14-4 その他の共通講習
 - 14-5 1～13に当てはまらない領域講習
-